

## 2-4 栄川中学校区将来まちづくり構想

### (1) 地域の概況とまちづくりの課題

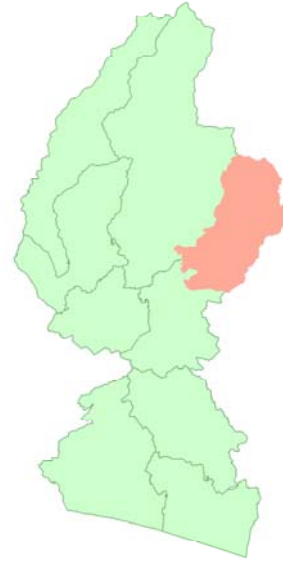
● 栄川中学校区位置図

#### ①地域の概況

本地域は、掛川市が「お茶のまち」である強く印象づけている「粟ヶ岳の茶文字」や、丘陵地一体に広がり世界農業遺産に認定された「静岡の茶草場農法」による茶畑、「旧東海道」の宿場町としてにぎわい、当時の面影や佇まいが今なお残る日坂宿の街並みなど、多くの歴史・文化的資源が分布する、掛川市の歴史や文化を感じられる地域です。

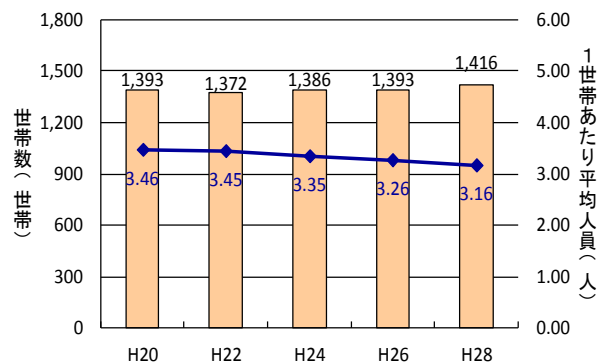
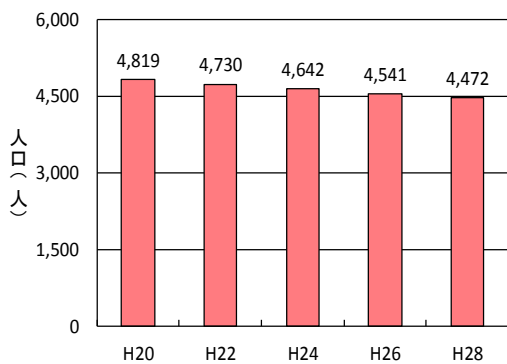
本地域の茶畑は、本市の農業を支えるとともに、茶園風景やそこでの営農風景は、人の心を和ませ、四季の移ろいを感じさせる重要な景観資源となっています。また、夜泣石から事任八幡宮に至る「旧東海道」では、かつての人の往来により発達した街道文化を垣間見ることができます。日坂宿の中心的な旅籠であった「川坂屋」など、歴史的価値の高い建築物や道標が日坂宿の歴史的な街並みを形成しており、宿場町としての情景を醸し出しています。

また、本地域には、国道1号掛川バイパス及び日坂バイパスが横断しており、市内外からの自動車交通の利便性が高いのが特徴の一つです。「道の駅かけがわ」が立地し、地域の農作物等を買求める観光客等でにぎわいを見せているほか、地域の南部には工業団地が整備されています。



|   |               |      |            |                 |
|---|---------------|------|------------|-----------------|
| 面積  | 2,485ha       |      | 世帯数        | 1,416世帯         |
| 人口  | 4,472人        |      | 1世帯あたり平均人員 | 3.16人           |
| 行政区   | 東山口地区<br>東山地区 | 日坂地区 | 小学校        | 東山口小学校<br>日坂小学校 |
| 主要な施設   |               |      |            |                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅かけがわ</li> <li>22世紀の丘公園</li> <li>小夜の中山公園</li> <li>エコポリス</li> <li>新エコポリス</li> <li>東山いっぷく処</li> <li>中部電力駿遠営業所</li> </ul>   |               |      |            |                 |
| 主要な地域資源   |               |      |            |                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>世界農業遺産</li> <li>大茶園</li> <li>粟ヶ岳の茶文字</li> <li>粟ヶ岳の桜並み木</li> <li>川坂屋（日坂宿）</li> <li>夜泣石</li> <li>事任八幡宮</li> <li>阿波々神社</li> <li>久延寺</li> <li>鞍骨池</li> <li>海老名池</li> </ul> |               |      |            |                 |

※人口、世帯数及び1世帯あたり平均人員は平成28年3月31日現在のもの（出典：掛川市統計資料等）



## ②地域づくりの課題

- **地域の誇りであり、掛川市を象徴する茶園風景の保全と活用を図る地域づくりが必要です。**

地域生活拠点以北の広大な茶園は、世界農業遺産に認定されるなど「お茶のまち掛川」を象徴する重要な地域資源であるため、緑豊かな茶園風景と農村の営みを感じさせる営農風景の保全を図る必要があります。また、これらの誇りある地域資源を有効に活用し、グリーンツーリズムによる都市住民との交流や、道の駅かけがわや日坂宿などの観光・歴史・文化交流拠点での観光客等との交流を通して、いきいきとした地域づくりを進めていく必要があります。

- **広域道路網を有効活用した地域づくりが必要です。**

本地域の南部には、本地域を横断する国道 1 号掛川バイパス及び日坂バイパスなどの高い自動車交通の利便性を活かした道の駅や工業団地が立地しています。一方で、県道などの幹線道路が交差する千羽 IC や八坂 IC などにおいては、大型車を含む多くの自動車交通の流入が多い状況です。地域や本市の活性化に向けて、さらなる産業集積を図るとともに、歩行者や自転車の安全に移動でき、地域の人が安心して生活できる地域づくりが必要です。

- **公共交通の維持を図りながら、地域にとって望ましい交通サービスの検討を進める必要があります。**

鉄道が配置されていない本地域では、自主運行バス東山線を運行しています。高齢化が進行する中で公共交通の維持を図る必要があるとともに、将来的な公共交通需要を見据えながら、地域福祉バスを含め、地域にとって望ましい公共交通について検討を進める必要があります。

また、地域生活拠点などの既存集落地等においては狭隘な生活道路が多く存在するため、子どもや高齢者などの交通弱者にとって安全で優しい道路空間を創出する必要があります。

- **災害時にも安心できる地域づくりが必要です。**

山間地域を多く抱える本地域においては、地震災害や風水害による地域の分断や既存集落地等の孤立化が心配されます。このような災害リスクを軽減するため、防災・減災拠点と陸・空の安全なネットワークを構築するとともに、地域住民一人ひとりの自主防災意識を高めることが必要です。

## (2) 地域づくりの目標

### 誇りある緑豊かな自然と歴史・文化を大切にしながら、 人や地域の「絆」を醸成するまちづくり

本地域は、世界農業遺産に認定された「静岡の茶草場農法」による茶畑を中心とする緑豊かな自然資源と、日坂宿などの歴史・文化的資源といった特有の資源があります。また、都市内外の地域と連絡する利便性の高い道路軸が整備され、工業団地が形成されています。これらの地域資源や都市基盤等を活用しながら、地域住民や地域を訪れる観光客等との交流による地域活力の維持・向上に努めるとともに、豊かな自然と調和した産業立地により、持続可能な地域づくりを行っていく必要があります。

そこで、本地域の地域づくりの目標を「誇りある緑豊かな自然と歴史・文化を大切にしながら、人や地域の「絆」を醸成するまちづくり」と掲げ、地域の顔であり、誇りでもある豊かな自然や歴史・文化などの地域資源を守り、後世に伝えていくとともに、住民同士や観光客等を始めとする人と人とのつながりや、本地域と市内外の地域と、日常生活や経済活動におけるつながりを活性化するまちづくりを目指します。



東山地区の茶園と粟ヶ岳の茶文字

### (3) 地域づくりのコンセプト（将来都市構造の方針）

栄川中学校区では、日坂地区から東山口地区にかけての旧東海道沿いに居住地や都市施設が立地していることから、道の駅かけがわを含むエリアに地域生活拠点を配置します。また、地域生活拠点では、周辺住民の生活を支える都市機能の維持を図るとともに、地域生活拠点と都市拠点とを結ぶ公共交通を維持します。

本市及本地域経済の活性化に向け、世界農業遺産の「静岡の茶草場農法」による優良な茶園や地域全体に広がる豊かな自然を保全・活用するとともに、地域南部における産業拠点の維持・創出を図ります。

また、本地域と周辺都市との広域連携の強化のための、広域幹線道路や市街地環状軸の形成を推進します。



## (4) 地域づくりの基本方針

### ① 地域づくりの重点方針

#### 重点方針1

- **一団の優良農地を保全するとともに、耕作放棄地等の有効活用を検討します。**
  - 1-① 地域生活拠点周辺に広がる水田・茶畑など、一団の優良農地の保全を図ります。特に、世界農業遺産に認定された「静岡の茶草場農法」は、次世代に受け継ぐ財産として適切に保存していきます。
  - 1-② 地域に存在する耕作放棄地等を把握して、農業計画との連携・調整により、農業希望者への貸し出しや市民農園としての活用、また景観作物等の導入など、農地の新たな活用の可能性を検討します。
  - 1-③ 旧日坂幼稚園跡地の有効活用を促進し、本市及び地域にとって必要かつ適切な機能の確保を図ります。

#### 重点方針2

- **(都)掛川東環状線や(仮称)掛川北環状線等の幹線道路の整備・形成を推進し、道路のネットワーク化を図るとともに、人に優しい歩道環境整備を図ります。**
  - 2-① 国道1号掛川バイパス及び国道1号日坂バイパスの4車線化を促進し、広域の都市間を連携する幹線道路の機能の強化を図ります。
  - 2-② 市内外の主要拠点へのアクセス性と地域内交通の円滑性を高めるため、(都)掛川東環状線の整備を推進するとともに、(仮称)掛川北環状線の形成を推進します。
  - 2-③ 幹線道路等の歩道や、国道1号バイパスのインターチェンジ付近などについては、ユニバーサルデザインの導入やバリアフリー化などを推進し、高齢者などの交通弱者をはじめ、すべての人に優しく、利用しやすい歩行者空間の整備を図るとともに、必要に応じてカーブミラーや信号機等の交通安全施設の設置を推進し、歩行者や自転車の安全性の確保を図ります。

#### 重点方針3

- **公共交通の利用促進と新たな公共交通サービスの確立を推進します。**
  - 3-① 自主運行バス東山線の維持と利用環境の向上による利用促進を図りながら、デマンドバスや、デマンドタクシー等の新たな公共交通サービスの確立を推進します。

#### 重点方針4

- **地域コミュニティの維持・向上を図りながら交流の生まれるまちづくりを推進して、地域の活性化を図ります。**
  - 4-① 地域住民間の協力や助け合い、また人と人とのコミュニケーションやつながりを大切にすることによって地域全体のコミュニティの維持・向上を図り、多くのまちづくりに活かしていきます。
  - 4-② 都市住民等との交流による地域活性化や定住促進を目指すため、地域の基幹産業である農業をまちづくりに積極的に活用して、お茶摘みや山村留学などのグリーンツーリズムを推進するとともに、粟ヶ岳や道の駅かけがわ、また日坂宿や夜泣石など地域が有する観光資源や歴史・文化的資源のPRとネットワーク化を図ります。

## 重点方針5

### ● 防災拠点の整備や地域防災体制の強化により、地震や風水害などの災害に強いまちづくりを推進します。

- 5-① 住宅等民間建築物の耐震化を推進・促進するとともに、地域の防災拠点や避難地となる公園・広場の整備や、避難路となる生活道路等の整備を推進します。
- 5-② 中山間地域に位置する既存集落地等については、崖崩れや土砂災害等により孤立してしまうおそれが強いため、土砂災害ハザードマップによる危険箇所や災害時の対応・連絡方法等について日常的な周知に努めます。
- 5-③ 地域全体の防災力の向上・強化を図るため、効果的な防災訓練の実施や防災情報の周知・浸透など、地域住民一人ひとりの自主防災意識を高める取り組みを推進するとともに、十分な防災資機材の確保を図ります。

## 重点方針6

### ● 地域成長と防災・減災機能の強化を両立する土地利用を推進します。

- 6-① 内陸フロンティア推進区域に位置づけられた新エコ第3期地区では、若年層の地元就業・定着による人口維持及び工業の一層の発展を目指し、工業団地造成を進め企業を誘致します。また、進出企業との防災協定締結により、有事において、福祉避難所への食糧物資、人材などの避難支援を迅速に対応できるヘリポート拠点となりうる平地を確保します。

## ② その他の地域づくりの基本方針

### 1) 土地利用・市街地整備に係るその他の基本方針

#### ● まちづくりのルールを導入・活用により、健全な土地利用を誘導します。

- 1-① 掛川市生涯学習まちづくり土地条例の活用や、新たなまちづくりのルールの導入を推進して、悪質・無秩序な開発行為や建築行為の防止を図り、地域にふさわしい健全な土地利用を誘導します。

### 2) 都市交通に係るその他の基本方針

#### ● 安全・安心な生活道路や通学路の整備を推進します。

- 2-① 安全・安心な生活道路の整備を推進します。特に地域生活拠点の生活道路や交通事故等の危険性が高い生活道路では、必要に応じて道路の拡幅や自動車交通と歩行者・自転車交通の分離などを図るとともに、カーブミラーやガードレール等の交通安全施設、また道路交通標識や案内標識などを設置して、安全な道路空間の形成を図ります。
- 2-② 安全・安心な通学路の整備を推進します。特に小学校・中学校周辺の道路の安全性を高めるため、適切な箇所に信号機やカーブミラー、道路照明などの交通安全施設の設置を進めるとともに、学童や児童の交通マナー向上の啓発を推進します。

### 3) 都市環境に係るその他の基本方針

#### ● 身近な自然を活用した公園の整備を検討します。

3-① 身近な自然や、低・未利用地などの地域資源を利用して、地域住民の憩いの場・交流の場となる公園の整備を検討します。

#### ● 逆川などの水辺空間の保全を図ります。

3-② 地域をほぼ南北に縦断するように流れている逆川については、都市にうるおいを与える貴重な水辺空間として保全を図るとともに、河川の上流部に位置する地域であることから、合併浄化槽等の汚水処理施設により、公共用水域の水質環境の保全・向上を図ります。

#### ● 豊かな自然環境を保全するとともに、これらを背景とした観光資源をまちづくりに効果的に活用します。

3-③ 森林や里山の適切な管理を行うとともに、地域住民やボランティア等の協力のもと、ごみの不法投棄を防止するための取り組みを行い、地域の豊かな自然環境の保全に努めます。

3-④ 地域住民と観光客の交流の場となっている粟ヶ岳などの観光資源については、まちづくりへの一層の効果的な活用を図るとともに、活用の利便性を高めるための整備を推進します。

### 4) 都市防災等に係るその他の基本方針

#### ● 防犯まちづくりを推進します。

4-① 防犯灯などの設置により、犯罪から地域住民を守る防犯まちづくりを推進します。

4-② 地域の防犯力の向上・強化を図るため、地域コミュニティの維持を図るとともに、防犯パトロール等の自主防犯活動の取り組みを促進して、地域住民一人ひとりの防犯意識を高めます。

### 5) 都市景観に係るその他の基本方針

#### ● 歴史・文化的資源の保全と歴史を感じる街並み整備・道づくりを推進します。



日坂宿

5-① 旧東海道の宿場町である「日坂宿」としてにぎわい、川坂屋などの貴重な歴史・文化的資源が当時の面影や佇まいを残している日坂・東山地区周辺においては、これらの資源の積極的な保全とネットワーク化を図り、歴史的な街並み整備と歴史的な道づくりの推進について、景観面と安全面の両面から検討を行います。

5-② 地域が培ってきた歴史や伝統・文化を引き継いでいくための学習をまちづくりに積極的に取り入れます。

- **掛川市や地域のシンボルとなる自然景観や茶園風景の保全を図ります。**
- 5-③ 粟ヶ岳の“茶”の文字や事任八幡宮、東山口小学校のかしの木など、地域のシンボルとなる景観の保全を図ります。
- 5-④ 粟ヶ岳など、良好な眺望ポイントの積極的な保全を図ります。
- 5-⑤ 掛川市の象徴である茶園風景や、これらに調和した農村風景を残すため、特に地域生活拠点以北に広がる茶畑など、一団の優良農地の保全と営農環境の整備を図ります。
- 5-⑥ 山林や里山などの良好な自然景観の保全を図るため、地域住民やボランティアなどによる取り組みを推進します。



# 栄川中学校区 将来まちづくり構想図

0 1km 2km

